



**FLEX10K20/40 ブレッドボード
CSP-001E シリーズ**

ユーザーズマニュアル

目次

はじめに	2
ご注意	2
製品について	3
製品の内容について	3
各部の名称	4
ジャンプスイッチの説明	5
JP9、JP10 メインクロック設定 (次表を参照ください)	5
CSP - 001E 参考回路について	6
付属資料	6

はじめに

この度は、FLEX10K ブレッドボードをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

CSP - 001E シリーズは、アルテラ社の高性能 CPLD である EPF10K20RC208 または EPF10K40RC208 を実装した試作評価用ボードで、RS - 232C 入出力や 7セグメント表示器、汎用 LED、ディップスイッチ、クロック発生回路などを装備した使いやすいボードになっています。

どうぞご活用ください。

。

ご注意

1. 本書の内容は、改良のため将来予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
2. 本書の内容については万全の記して作成しましたが、万一誤りなど、お気づきの点がございましたら、ご連絡をお願いいたします。
3. 本製品の運用の結果につきましては、2 . 項にかかわらず当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。
4. 本書に記載されている使用と異なる使用をされ、あるいは本書に記載されていない使用をされた場合の結果については、当社は責任を負いません。

有限会社ヒューマンデータ

〒567-0034 大阪府茨木市中穂積 1 - 2 - 5 1

シャトー春日第 3 ビル 2 F

TEL 0726-20-2002

FAX 0726-20-2003

e-mail: support@hdl.co.jp

URL <http://www.hdl.co.jp>

- MAX+Plus2, FLEX は、米国アルテラ社の商標です。

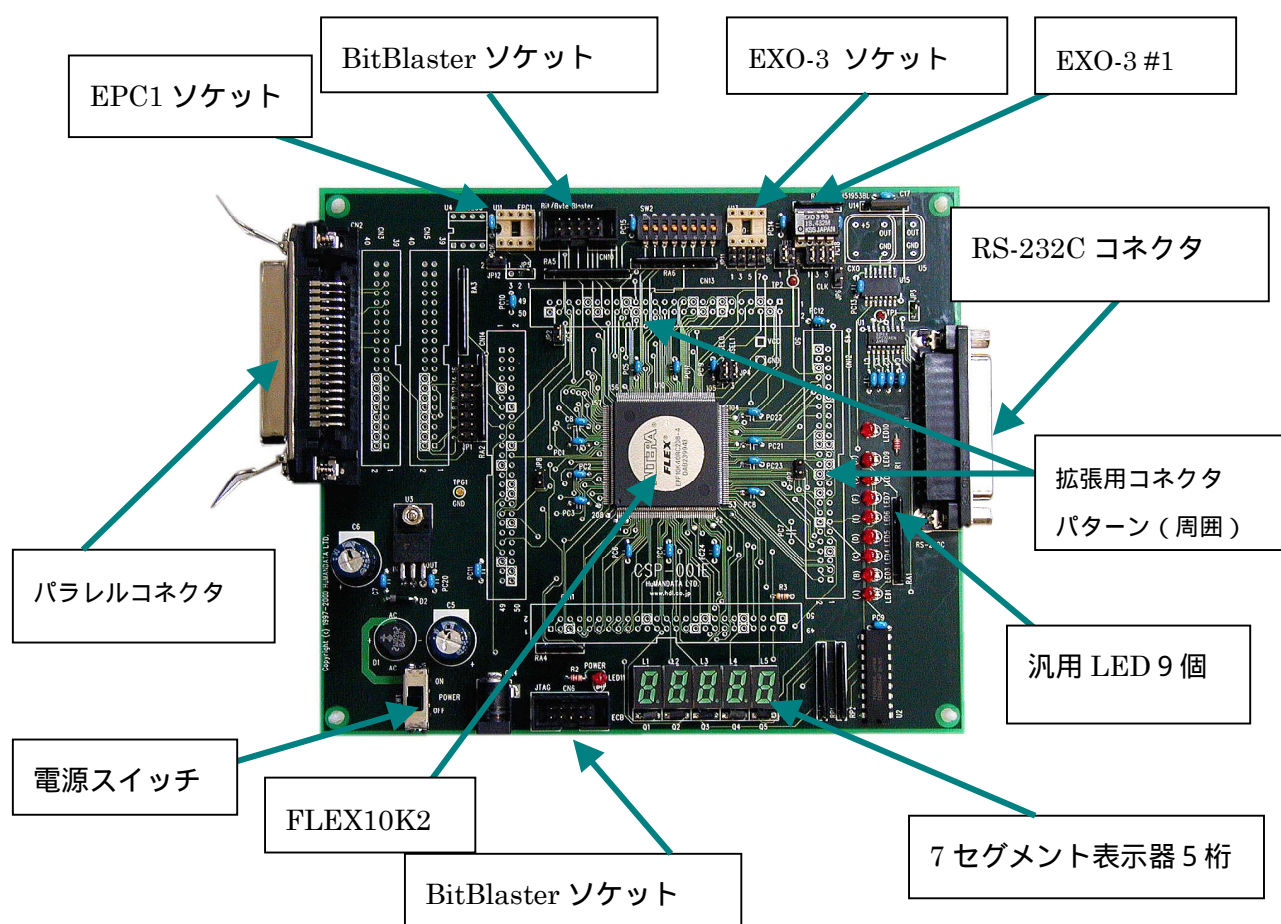
製品について

製品の内容について

本パッケージには、以下のものが含まれています。万一、不足などがございましたら、弊社宛にご連絡ください。

FLEX10K ブレッドボード	1
AC アダプタ	1
マニュアル(本書)	1
ユーザー登録カード	1

各部の名称



ジャンプスイッチの説明

J P 9、J P 10 メインクロック設定（次表を参照ください）

EXO-03(クロック発生器 18.432MHz の場合)

J P 9		J P 10			
1-2 間	3-4 間	1-2 間	2-3 間	4-5 間	周波数
SHORT	OPEN	-	-	-	18.432MHZ
OPEN	SHORT	SHORT	SHORT	SHORT	9.216
OPEN	SHORT	OPEN	SHORT	SHORT	4.608
OPEN	SHORT	SHORT	OPEN	SHORT	2.304
OPEN	SHORT	OPEN	OPEN	SHORT	1152KHz
OPEN	SHORT	SHORT	SHORT	OPEN	576
OPEN	SHORT	OPEN	SHORT	OPEN	288
OPEN	SHORT	SHORT	OPEN	OPEN	144
OPEN	SHORT	OPEN	OPEN	OPEN	72

J P 12 パワーオンリセット信号を nCONFIG へ与える。

注意) Bit/ByteBlaster を使うときは決して接続しないようにしてください。

J P 8 通常 OPEN

J P 2 nCE 信号 通常 SHORT

J P 4 MSEL0,MSEL1 信号 通常 SHORT

J P 11 予備のクロック源(EXO-03)用の設定用

J P 6 予備のクロック源(CXO)使用時用 通常 OPEN

J P 1 パラレルポートのデータ信号接続用

J P 5- コンフィグレーション ROM 選択。

通常は、1-2 間 : CSP-001E-40 では、1-2 間にジャンパハンダ付けにて固定していません。

C S P - 0 0 1 E 参考回路について

弊社 F T P サイトからダウンロード可能とします。

<http://www.hdl.co.jp/hdlftp.html>
(ホームページのサポートコーナーにあります)

拡張子.EXE は自己解凍ファイルです。

展開すると下記のようなデータが展開されます。

上手な設計でなく、参考にならないと存じますが、動作チェックにはご利用いただけると思われます。

R S - 2 3 2 C エコー回路 echo

R S - 2 3 2 C から受け取ったデータをそのまま R S - 2 3 2 C に返します。

7 セグメント表示デモ / R S - 2 3 C リモート表示例 rsdisp

R S - 2 3 2 C から受け取ったデータを 1 6 進数で LED 表示します。

セントロ通信速度測定回路 cspsamp1

P C とプリンタの間にいれて印刷速度を測定します。

1 0 0 m S 毎の P S T B 信号をカウントし L E D 表示すると同時に、R S - 2 3 2 C 送信します。

動作テスト回路 cspchk

7 セグメント表示がインクリメント表示します。R S - 2 3 2 C のをループバック (エコーではなく配線で接続) 。ディップスイッチの状態を汎用 L E D に出力。

付属資料

1 . 回路図